

第180回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成23年3月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

| 地区別 | 人口 | | | 世帯 | | |
|-----------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 人数 | 前年同月比 | 前月比 | 世帯数 | 前年同月比 | 前月比 |
| 中心部 | 9,663 | -0.41 | -0.11 | 4,058 | 0.24 | 0.07 |
| 東部地区 | 14,318 | 0.18 | -0.37 | 5,698 | 1.36 | -0.33 |
| 西部地区 | 10,646 | -0.49 | -0.17 | 4,003 | 0.02 | -0.24 |
| 駅南地区 | 6,275 | -0.15 | 0.06 | 2,669 | 0.11 | 0.22 |
| 半田地区 | 3,608 | 0.00 | -0.41 | 1,360 | 0.89 | -0.07 |
| 横山地区 | 5,650 | -0.14 | -0.19 | 1,875 | 0.64 | 0.05 |
| 茨目・田尻地区 | 6,968 | -0.18 | -0.25 | 2,355 | 0.42 | 0.08 |
| 荒浜地区 | 5,105 | 0.03 | 0.88 | 2,022 | 1.04 | 0.59 |
| その他地区 | 20,462 | -1.87 | -0.24 | 7,159 | -0.32 | -0.05 |
| 西山町地区 | 6,212 | -1.66 | -0.44 | 2,119 | -0.51 | -0.18 |
| 高柳町地区 | 1,859 | -4.22 | -1.06 | 832 | -1.88 | -0.83 |
| 柏崎市計 | 90,766 | -0.73 | -0.19 | 34,150 | 0.28 | -0.06 |
| 刈羽村 | 4,870 | -0.40 | -0.32 | 1,563 | 0.96 | 0.19 |
| 小国地区（長岡市） | 6,222 | -2.43 | -0.38 | 2,116 | -1.16 | -0.09 |
| 出雲崎町 | 5,100 | -1.23 | -0.23 | 1,802 | -0.49 | -0.22 |
| 合計 | 106,958 | -0.84 | -0.21 | 39,631 | 0.19 | -0.06 |

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で675人、0.73％、刈羽村で20人、0.40％、小国地区（長岡市）で155人、2.43％、出雲崎町で64人、1.23％とそれぞれ減少し、全体では914人、0.84％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で178人、0.19％、刈羽村で16人、0.32％、小国地区で24人、0.38％、出雲崎町で12人、0.23％と減少したことから、全体では230人、0.21％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で25世帯、1.16％、出雲崎町で9世帯、0.49％と減少したものの、柏崎市で96世帯、0.28％、刈羽村で15世帯、0.96％と増加したことから、全体では77世帯、0.19％の増加となった。また、前月比においては、刈羽村で3世帯、0.19％と増加したが、柏崎市で21世帯、0.06％、小国地区で2世帯、0.09％、出雲崎町で4世帯、0.22％と減少した結果、全体では24世帯、0.06％と減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

| | 柏崎職安 | 新潟県 | 前年同月比 | | 前月比 | |
|----------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 柏崎 | 県 | 柏崎 | 県 |
| 月間有効求人 | 1,325 | | 21.00 | | 13.73 | |
| 月間有効求職者 | 2,397 | | -8.51 | | 12.32 | |
| 月間有効求人倍率 | 0.55 | 0.67 | 0.13* | 0.15* | 0.00* | 0.00* |

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,325人と前年同月比で230人、21.00％の増加、前月比でも160人、13.73％と増加している。

一方、月間有効求職者数は2,397人と前年同月比で223人、8.51％の減少となったものの、前月比では263人、12.32％の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.55倍と前年同月比で0.13ポイント上回ったが、前月とは同数となっている。なお、県平均0.67倍と比べると0.12ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が585人と前年同月比で74人、14.48％の増加となったが、月間新規求職者数では779人と前年同月比で99人、11.27％と減少した結果、月間新規求人倍率は0.75倍となり、前年同月の0.58倍に比べて0.17ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

| | 当 月 の 申 請 | | | 平成22年度累計 | |
|-------------|-----------|-------|-------|----------|-------|
| | 件 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 件 数 | 前年同月比 |
| 一 般 住 宅（併用） | 19 | -19 | 7 | 247 | -157 |
| 共 同 住 宅 | 0 | 0 | 0 | 5 | -5 |
| 事 務 所 | 0 | 0 | -1 | 5 | -4 |
| 作 業 所・工 場 | 2 | -3 | 2 | 12 | 4 |
| 営 業 建 物 | 2 | 2 | 2 | 14 | -9 |
| 公 共 建 物 | 1 | 1 | 1 | 2 | -1 |
| そ の 他 | 6 | 0 | 6 | 77 | -24 |
| 合 計 | 30 | -19 | 17 | 362 | -196 |

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が30件と前年同月比で19件の減少となったものの、前月比では17件の増加となっている。工種別における主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）で19件減少したが、前月比では一般住宅（併用）で7件、その他で6件増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が15件、増築が11件、改築が4件となっている。また、一般住宅（併用）19件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が10件（うち新築4件、増築3件、改築3件）、市外施工業者が8件（うち新築6件、増築1件、改築1件）、未定1件となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

| | 契 約 口 数 | | | 使 用 量 | | |
|-----|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 口 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 使 用 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 電 灯 | 65,183 | 0.27 | 0.05 | 26,696 | 3.10 | -2.49 |
| 電 力 | 10,848 | -2.27 | -0.61 | 40,610 | -2.42 | -5.12 |

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で182口、0.27%の増加、前月比でも38口、0.05%と増加している。一方、電力においては、前年同月比で252口、2.27%の減少、前月比でも67口、0.61%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で805kwh、3.10%の増加となったものの、前月比では684kwh、2.49%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で1,009kwh、2.42%の減少、前月比でも2,192kwh、5.12%と減少している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

| | ガ ス 供 給 量 | | | 水 道 給 水 量 | | |
|-----------|-----------|-------|--------|-----------|--------|--------|
| | 供 給 量 | 前年同月比 | 前 月 比 | 給 水 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 家 庭 用 | 1,620,877 | -2.67 | -11.09 | 607,964 | -4.16 | -9.04 |
| 営 業 用 | 295,522 | -1.51 | -2.09 | 108,827 | -4.64 | -3.08 |
| 工 場 用 | 845,348 | 4.84 | 9.41 | 132,564 | -3.21 | 11.56 |
| 官 公 学 校 用 | 681,671 | 0.57 | -8.61 | 76,664 | -4.58 | 3.21 |
| そ の 他 | | | | 23 | -47.72 | -73.25 |
| 合 計 | 3,443,418 | -0.18 | -5.49 | 926,042 | -4.12 | -4.91 |

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で6,211m³、0.18%の減少、前月比でも200,049m³、5.49%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用、営業用で減少、前月比では工場用を除くすべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で39,795m³、4.12%の減少、前月比でも47,880m³、4.91%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で減少、前月比では家庭用、営業用、その他で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

| | 入 口 | | | 出 口 | | |
|-----|---------|--------|-------|---------|--------|-------|
| | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 柏 崎 | 79,120 | -7.50 | 11.54 | 82,591 | -9.59 | 12.17 |
| 西 山 | 36,005 | -12.61 | 14.73 | 33,204 | -10.73 | 19.27 |
| 米 山 | 14,597 | -26.79 | 9.11 | 13,909 | -19.35 | 6.92 |
| 合 計 | 129,722 | -11.56 | 12.12 | 129,704 | -11.03 | 13.30 |

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で16,964台、11.56%の減少となったものの、前月比では14,031台、12.12%と大幅に増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で16,094台、11.03%の減少、前月比では15,227台、13.30%の大幅な増加となった。

インター別で見ると、前年同月比ではすべてのインターの入口・出口ともに減少しており、前月比では入口・出口ともにすべてのインターで増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

| | 預 金 | | | 貸 出 金 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 未 残 | 365,407 | -0.87 | 2.18 | 150,831 | -1.54 | 2.68 |
| 平 残 | 362,837 | 1.04 | 1.60 | 148,290 | -0.71 | 0.71 |

預金は、未残が前年同月比で3,233百万円、0.87%の減少となったものの、前月比では7,830百万円、2.18%と増加している。また、平残においては、前年同月比で3,748百万円、1.04%の増加、前月比でも5,740百万円、1.60%と増加している。

一方、貸出金は、未残が前年同月比で2,364百万円、1.54%の減少となったが、前月比では3,940百万円、2.68%と増加している。また、平残においても、前年同月比で1,074百万円、0.71%の減少、前月比では1,059百万円、0.71%の増加となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

| | 枚数/金額 | 前年同月比 | 前 月 比 |
|---------------|--------|--------|----------|
| 交 換 枚 数 | 29,718 | -18.34 | 7.94 |
| 交 換 金 額 | 22,950 | -18.81 | 11.83 |
| 不 渡 り 手 形 枚 数 | 10 | -88.09 | 400.00 |
| 不 渡 り 手 形 金 額 | 11 | -83.21 | 2,539.40 |

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で6,675枚、18.34%の減少となったものの、前月比では2,188枚、7.94%と増加している。また、交換金額においても前年同月比で5,317百万円、18.81%の減少、前月比では2,430百万円、11.83%の増加となっている。なお、不渡手形は10枚、11百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産12件（前年同月5件、前月8件）、負債総額56億円（同27億円、同35億円）となっている。地区別では、下越地区で9件（新潟市7件、燕市1件、佐渡市1件）、中越地区で3件（長岡市1件、中魚沼郡1件、魚沼市1件）となり、上越地区では発生していない。業種別は、建設業1件、製造業4件、販売業4件、サービス業1件、不動産業1件、運送・通信業1件となっており、倒産原因については、販売不振11件、経営者の病気・死亡1件となっている。

当月の企業倒産12件、負債総額56億円ともに平成22年度の最多となっており、前年同月比では7件の増加、負債総額でも29億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が2件発生している。

県内経済は、持ち直しの動きが続いているものの、足踏みもみられるなど、依然として厳しい状況にある。なお、東日本大震災及び円高やデフレの影響等による企業の先行きへの不安がうかがわれる。

個人消費・物価は、持ち直してきているものの、弱い動きもみられる。雇用面は持ち直してきているが、引き続き厳しい状況となっている。また、企業収益・景況感は、改善の動きが弱まっている。